

April 27, 2026

【前日の為替概況】ドル円、5日ぶり反落 ユーロドルが1.17ドル台を回復し4日ぶりに反発

24日のニューヨーク外国為替市場でドル円は5営業日ぶりに反落。終値は159.38円と前営業日NY終値(159.71円)と比べて33銭程度のドル安水準だった。米国とイランの戦闘終結に向けた交渉の行方を見極めたいとの雰囲気広がる中、WTI原油先物相場の下落を受けて米長期金利の低下とドル安が進んだ。2時過ぎに一時159.31円と日通し安値を更新した。

国営イラン通信はこの日、「アラグチ・イラン外相が仲介国のパキスタンなどへの歴訪を開始する」と報道。「米国との戦闘など地域情勢について協議する」として、米・イラン協議再開につながるかどうか注目された。

また、米CNNは「ウィトコフ中東担当特使とトランプ米大統領の娘婿クシュナー氏がイランとの協議のためパキスタンに向かう」と報じた。その後、レビット米ホワイトハウス報道官も「ウィトコフ氏とクシュナー氏は明日25日朝にパキスタンへ向かう」と明らかにし、「バンス氏はトランプ大統領、ルビオ国務長官とともに米国で待機予定」と発表した。

ユーロドルは4日ぶりに反発。終値は1.1722ドルと前営業日NY終値(1.1683ドル)と比べて0.0039ドル程度のユーロ高水準だった。米・イラン当局者が和平協議のため仲介国パキスタンへ向かう動きが報じられると、原油安と米金利低下が進行。全般ドル売りが優勢となり、取引終了間際に一時1.1723ドルと日通し高値を更新した。

ユーロ円も4日ぶりに反発。終値は186.86円と前営業日NY終値(186.59円)と比べて27銭程度のユーロ高水準。ただ、NYの取引時間帯に限れば、186円台後半での狭いレンジ取引に終始した。ドル円とユーロドルの値動きの影響を同時に受けたため、相場は大きな方向感が出なかった。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米・イランの第2回和平協議関連ヘッドラインに要警戒か

本日の東京外国為替市場のドル円は、先週末に予定されていた米国とイランの第2回和平協議が中止されたことで、開催時期を巡る関連ヘッドラインを注視しながらの動きづらい展開が予想される。

トランプ米大統領は、イラン紛争を巡る第2回和平協議のため予定されていた特使団、ウィトコフ中東担当特使とトランプ米大統領の娘婿クシュナー氏のパキスタン訪問を中止し、「私はいくらでも時間があるが、イランにはない。時間は刻一刻と過ぎていく」とSNSに投稿した。

トランプ米大統領は、イランとの和平合意が締結されるまで無期限の停戦を表明しているが、懸念材料として、「戦争権限法(War Powers Resolution)」による「戦争60日ルール」によるタイムリミットが挙げられる。

米国憲法上、戦争を宣言する権限は議会にあり、戦争権限法は、大統領が議会の承認なしに敵対国に武力を行使した場合、共同決議によって軍の即時撤退を求めることができると規定している。また、60日以内に議会から武力行使の承認を得られなければ、30日以内に撤退しなければならない。イラン戦争の開戦日は2月28日だが、トランプ政権が議会に公式に作戦開始を通知した時点の3月2日から日数が数えられるため、デッドラインは5月1日(現地時間)となっている。

先週、ニュースサイト「アクシオス」がアメリカ当局者の話として、「イランとの停戦延長について、トランプ大統領は3日から5日間との考えで、無期限の延長にはならない」とも報じていたが、この「戦争60日ルール」を念頭においた見解だったのかもしれない。

米軍を撤退させない場合、トランプ大統領が選択できる方法は、共和党を説得して上下両院で戦争の承認を得るか、議会の同意なしに自ら戦争延長を強行するかの2つである。

これまで共和党は、民主党から提出された戦争反対決議案を否決してきた。

4月15日、上院は賛成47票、反対52票で否決し、16日には下院で賛成213票、反対214票で否決された。しかし、ジョン・カーティス議員は、「議会の承認なき60日以上軍事行動は支持しない」と表明し、下院外交委員長のブライアン・マスト議員も「5月も戦争が続けば、戦争反対決議案の採決の結果が変わる可能性がある」と警告している。

また、先週、イスラエルとレバノンの停戦は、10日間から3週間の延長になったと報じられていたが、週末にはネタニヤフ・イスラエル首相がヒズボラの標的への攻撃を命じたとの報道もあり、予断を許さない状況が続いている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 日銀金融政策決定会合（1日目）
- 14:00 ◇ 2月景気動向指数改定値

<海外>

- 15:00 ◇ 5月独消費者信頼感指数（Gfk調査、予想：▲30.0）
- 21:00 ◇ 3月メキシコ貿易収支（予想：8.00億ドルの黒字）
- 28日 02:00 ◎ 米財務省、2・5年債入札
- 南アフリカ（自由の日）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

24日 09:25 片山財務相

「為替での投機的動きには断固として強い措置とれる」

「石油絡みの指標の値動きは極めて荒い」

「代理ベースで大型連休中も含めて米国と連絡をとる」

24日 17:33 シュレーゲル・スイス国立銀行(中央銀行、SNB)総裁

「政策金利や為替介入に関して、我々には制約のない裁量権がある」

「イラン戦争の影響を綿密に監視しており、必要に応じてフランの為替レートを無制限に操作することができる」

24日 23:38 アラグチ・イラン外相

「イスラマバード、マスカット、モスクワへの訪問に着手」

「目的は、両国間の問題についてパートナーと密接に調整し、地域の発展について協議すること」

「近隣諸国が最優先事項」

25日 02:09 レビット米ホワイトハウス報道官

「ウイコフ氏とクシュナー氏はパキスタンへ向かう」

「明日の朝出発予定」

「イラン側から接触があり、直接会談を要請」

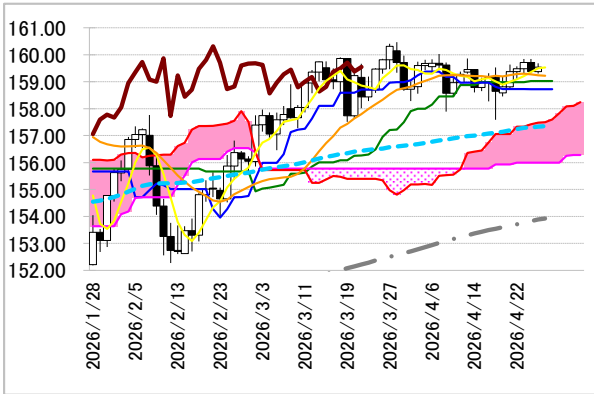
「ハンス氏はトランプ大統領、ルビオ国務長官とともに米国で待機予定」

25日 02:49 ベッセント米財務長官

「米中首脳会談は安定がテーマ」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

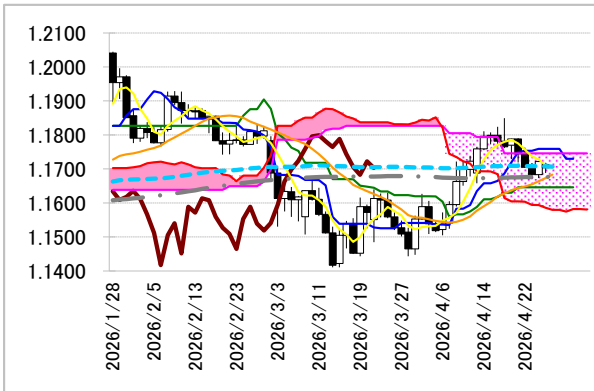


<ドル円=159円超えで推移する基準線が下値めど>

陰線引け。23日高値に並ぶ159.84円まで強含む場面はあったものの、13日高値に僅かに届かず失速。23日安値159.30円の手前で下げ止まったが、5手ぶり陰線引け。

日足一目・基準線は159.03円で推移が見込まれ、目先の下値めどとして意識される。同線を下抜けたとしても、158.70円台の転換線が支持水準として働きそうだ。上値は7日高値160.03円や年初来高値160.46円を巡る攻防に注目。

レジスタンス1	160.46(3/30 高値=年初来高値)
前日終値	159.38
サポート1	158.72(日足一目均衡表・転換線)
サポート2	157.48(日足一目均衡表・雲の上限)

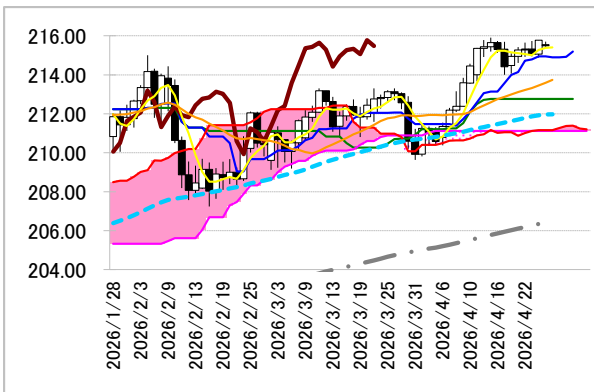


<ユーロドル=90日線が攻防の分岐点に>

陽線引け。200日線が位置する1.1670ドル台で下げ渋ると、1.17ドル台を回復。90日線や23日高値を超えて、1.1720ドル台までじり高となった。4手ぶり陽線引け。

目先は本日1.1708ドルの90日線が攻防の分岐点として意識される。上放れた場合は1.1740ドル台の日足一目・雲の上限から1.1759ドルの転換線まで抵抗帯として働くかに注目。下サイドは、200日線の下、23日安値1.1669ドルを割り込むと、下値を探る動きが強まりそうだ。

レジスタンス1	1.1759(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1722
サポート1	1.1669(4/23 安値)

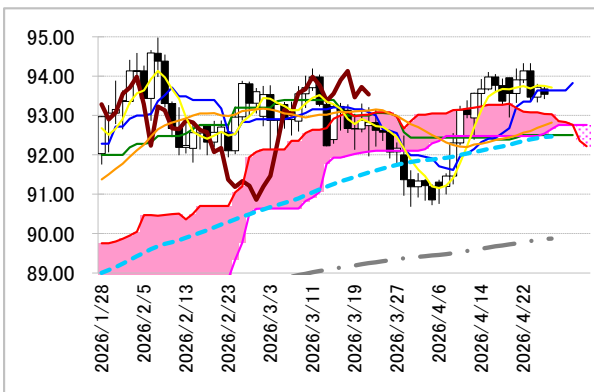


<ポンド円=2008年1月以来の216円台乗せが視野に>

陽線引け。214.90円台まで上向いた日足一目・転換線を下回ったところで支えられると、215.80円まで反発した。年初来高値の前で上昇一服も、この日の高値圏で引けた。

強気の包み足を形成し、上方向へのバイアスが強まっている。2008年1月以来の216円台乗せが視野に入中、まずは年初来高値215.91円を巡る攻防に注視。下値は215円割れの日足一目・転換線から24日安値までを支持帯と想定する。

レジスタンス1	216.53(4/23 下落幅の上方倍返し)
前日終値	215.78
サポート1	214.88(4/24 安値)



<NZドル円=転換線を念頭に方向感を探る展開>

陽線引け。23日安値を僅かに下回った93.33円で下げ止まり、93.80円まで切り返した。引け水準も93.60円台まで上昇した日足一目・転換線の上を維持している。

転換線は本日も93.64円に位置し、同線を念頭に置きながら方向感を探る展開か。ただ、同線の上で上値を試したとしても、23日高値を超えられないようだ、来週初に92円台で発生する「雲のねじれ」に引き寄せられる展開もある。

レジスタンス1	94.33(4/23 高値)
前日終値	93.72
サポート1	92.95(4/20 安値)

5日線	イエロー	21日線	オレンジ	90日線	スカイブルー	200日線	グレー	---	
転換線	ブルー	基準線	グリーン	先行1	レッド	先行2	ピンク	進行	ブラウン